

だ多し。応に浜海の外国の王等に移文し、各々該管の地方に飭して凡そ船隻の漂して至る者有れば、収養し解送せしむべし、等の因あり。欽遵して案に在り。部文に敬遵し、飄風の難人游順等一十八名を將て中山の牧港地方に解到し、便ち以て館に発りて安挿し、廩饌・衣服を給与し、貢船兩隻に分搭せしむ。一船は義字第八十二号にして船戸游順等五名を附搭し、一船は義字第八十三号にして陳子発等一十三名を附搭し、解送して閩に至る。伏して貴司、^督撫兩院に転詳し、難人をして各々原籍に帰らしめんことを乞う。以て朝廷の民を愛するの至意に副わば則ち万里の波臣、願うに于て足る。貞、海陬に僻処し、夙に貴司の清廉惠愛にして遐邇は恩に沾うを仰ぐも、奈何せん、万里の波濤、趨きて教誨を承くるに由無し。徒らに深く引領して聳私す。茲者入貢する末員駑鈍にして誠に事に任ずるに堪えざるを恐る。統て貴司の始終照私するを祈る。感佩何ぞ極まらんや。此の為に理として合に貴司に移咨すべし。煩為わくは査照して施行せんことを。須らく咨に至るべき者なり。

右、福建等処承宣布政使司に咨す

康熙四十五年（一七〇六）九月 日發す

注（1） 恩納 国頭郡恩納村。沖縄本島北部にある。

（2） 地方官の報に拠るに称すらく、「本年正月十八日午後」から注（12）まで。

- (3) 下午 午後。
- (4) 船戸 船主。船夫。船頭。
- (5) 游順、口称すらく、「順等」から注（12）まで。
- (6) 海州 江蘇省北部に位置する。その東北を海州湾と呼ぶ。
- (7) 青州府 山東半島の西部に位置し、その南部地方は海州湾の北方の海に面している。

(8) 北山 沖縄本島の北部地方。

(9) 大島地方 奄美大島。

(10) 身尸 屍。

(11) 淹失 沈む。

(12) 等の因あり 注（2）と（5）の終り。

(13) 解到 送り至る。護送し到る。

(14) 原籍 本籍。本籍の所在地。

2-04-07

国王尚貞の、進貢のため耳目官馬元勲等を遣わすむねの符文

（一七〇六、九、□）

琉球国中山王尚（貞）、進貢の事の為にす。

照得するに、敝国は世々天朝の洪恩に沐し、貢典に遵依して二年一次なり。茲に康熙四十五年の貢期に当り、特に耳目官馬元勲・正議大夫程順則・都通事楊聯柱等を遣わし、表・咨を齎捧し海船二隻に坐駕して官伴・水梢を率領せしむ。每船に均幫する上下の員役は共に二百員名を過ぎず。常貢の煎熟硫黄一万二千六百觔・

紅銅三千舩・煉熟白剛錫一千舩を装運して両船に分載す。一船は義字第八十二号にして煎熟硫黄六千三百舩・紅銅一千五百舩・煉熟白剛錫五百舩を装載し、一船は義字第八十三号にして煎熟硫黄六千三百舩・紅銅一千五百舩・煉熟白剛錫五百舩を装載し、前んで福建等処承宣布政使司に至りて投納し、起送して京に赴き聖禮を叩祝せんとす。

所扱の差去する員役は並びに文憑無ければ、誠に所在の官軍の阻留して便ならざるを恐る。此の為に王府、今、義字第八十一号半印勘合の符文を給して都通事楊聯桂等に付し収執して前去せしむ。如し経過の関津及び沿海巡哨の官軍の驗実に遇わば即便に放行し、留難し遅候するを得しむる母かれ。須らく符文に至るべき者なり。

計開 京に赴く

耳目官一員 馬元勳 人伴一十二名

正議大夫一員 程順則 人伴一十二名

都通事一員 楊聯桂 人伴七名

在船都通事二員 陳其瀾 鄭士経 人伴八名

在船使者四員 (一)阿天秩 向和声 向自長 豊良佐 人伴六名

存留通事一員 蔡文漢 人伴六名

在船通事一員 阮瓚 ⁽²⁾ 人伴四名

管船火長・直庫四名 梁文瓏 池徳美 毛士達 長立功

右の符文は都通事楊聯桂等に付す。此れを准ず

康熙四十五年(一七〇六) 九月 日給す

注(一) 阿天秩 南風原親方守周。一六五九―一七三三年。首里阿氏(照

屋家)九世(『家譜(三)』一六頁)。

(二) 阮瓚 一六七八―一七四四年。久米村阮氏(卒宮城家)五世。福建に学ぶこと七年、進貢には三度従事する(『家譜(二)』一

五九頁)。

(三) 毛士達 生没年不詳。許田親雲上。久米村毛氏(阿賀嶺家)四世(『家譜(二)』九三五頁)。

2-04-08

国王尚貞の、進貢のため耳目官馬元勳等を遣わすむねの執照

(一七〇六、九、□)

琉球国中山王尚(貞)、進貢の事の為にす。

照得するに、敵国は世々天朝の洪恩に沐し、貢典に遵依して二年一次なり。茲に康熙四十五年の貢期に当り、特に耳目官馬元勳・

正議大夫程順則・都通事楊聯桂等を遣わし、表・咨を齎捧し海船

二隻に坐駕して官伴・水梢を率領せしむ。每船に均幫する上下の

員役は共に二百員名を過ぎず。常貢の煎熟硫黄一万二千六百舩・

紅銅三千舩・煉熟白剛錫一千舩を装運して両船に分載す。一船は

義字第八十二号にして煎熟硫黄六千三百舩・紅銅一千五百舩・煉

熟白剛錫五百舩を装載し、一船は義字第八十三号にして煎熟硫黄